

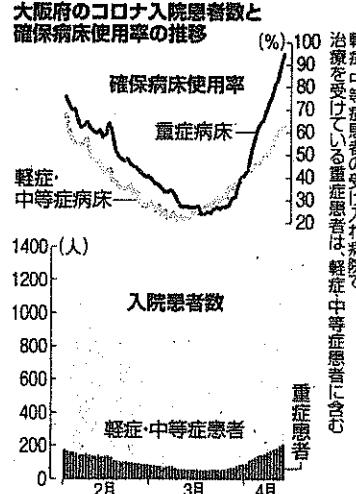
大阪の重症者 病床数超す

新型コロナウイルスの感染急拡大を受け、大阪府が確保する重症患者受け入れ病床（2332床）の使用率は14日、94%に達した。軽症・中等症患者の受け入れ病院で治療を続ける重症患者もいるため、重症病床の使用率は実質的には100%を超える。府は同日の対策本部会議で「過度という状況を超え、重症治療の危機に陥っている」との認識を示した。▼31面=医療戸際

府内の14日の新規感染者は過去最多の1130人で、2日続けて一千人を超えた。重症病床に入院中の患者は219人。重症化しても軽院せずに軽症・中等症患者の受け入れ病院で治療を続ける人も20人いるため、重症患者は過去最多の233人となり、重症病床数を7人上回った。府内の重症患者は3月18日

に54人で、2回目の緊急事態宣言の解除後で最も少なかつたが、約1カ月で185人増えた。府の分析によると、昨年10月～今年2月の「第3波」で、重症患者が170人増えるのに要した日数は3カ月。「第4波」とされる今回は、3倍のペースで急増している。

の日数は、「第4波」では7日間で、「第3波」よりも短い。重症化した人の入院期間は20日間程度だが、4月に入つてから1日平均で約19人が新たに重症化しており、重症病床が急に埋まる状況だ。こうしたことから、重症患者を受け入れる府内の病院の一つは、14日時



大阪府は14日、新型コロナウイルスの対策本部会議で、小中高校と支援学校での部活動について原則休止を要請することを決めた。大学には原則オンライン授業を実施するよう求めた。府は若年層での感染が広がって

大阪要請へ

「若者 感染拡大」

大阪府は14日、新型コロナウイルスの対策本部会議で、小中高校と支援学校での部活動について原則休止を要請することを決めた。大学には原則オンライン授業を実施するよう求めた。府は若年層での感染が広がって

部活動休止・大学はオンライン授業

いるとして、1月から2月にかけての緊急事態宣言下よりも踏み込んだ要請を行った。

▼30面=困惑の声

期限は、まん延防止等重点措置とあわせて5月5日まで。公

式戦など、学校が必要だと判断

（久保田脩暉）

兵庫感染500人超す

（笛川翔平、小林太一）

点で満床に近い状態だとう。担当者は「このまま感染者数が減らなければ、助けるか、そうでないかを選別しなければならない時期が来てしまうのではないか」と危機感を募らせる。

兵庫県は14日、新たに507人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。1日の新規感染者が500人を超えるのは初めて。井戸敏三知事は同日、神戸市など4市が対象となつて、まん延防止等重点措置を、宝塚、伊丹、明石の3市などにも拡大する方向で検討する考えを示した。

兵庫県の感染者は前日も390人で過去最多だったが、一気に100人余り増えた。井戸知事は「しばらく厳しい状態が続くかと思う」と述べた。

和歌山県も44人で、今月9日と並んで過去最多だった。同県の仁坂吉伸知事は臨時会見を開き、感染者が増えている県北部地域の住民に25日まで不要不急の外出を要請した。通勤で大阪府と往来する人たちには、在宅勤務を積極的に活用するよう呼びかけた。

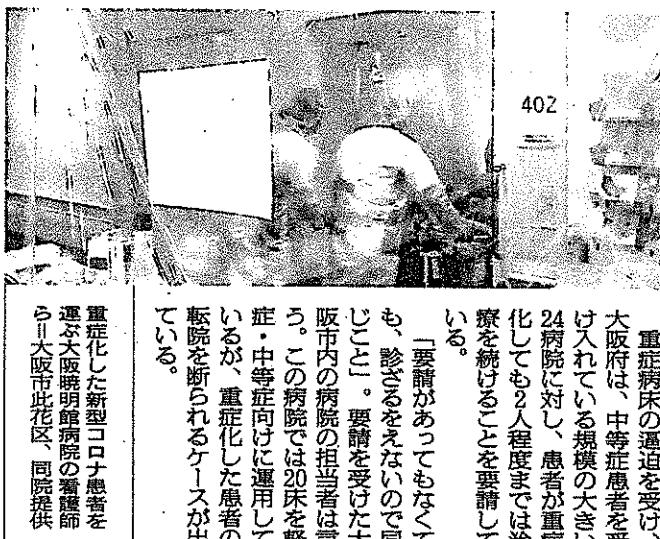
奈良県が14日に発表した感染者は94人で、今月9日の96人に次ぐ多さだった。

大阪「医療崩壊」の瀬戸際

医師ら「国主導で派遣を」 尾身会長

政府の新型コロナウイルス対策分科会の尾身茂会長は14日の衆院厚生労働委員会で、大阪府の医療体制について、「いままさに緊急事態で非常に厳しい状況」とし、全国から医師や看護師らの医療従事者を派遣することが必要との考え方を示した。

立憲の尾辻かな子氏への答弁。尾辻氏は「大阪の最大の課題は、重症者がさらに増えてくるということ。医療の逼迫がさらにかなり深刻な状況になることは明らか」と強調。その上で「大阪府と国が連携して必要な人材を送っていただく。一定の数は短期間には可能だと思う」と述べ、国が主導して医療従事者を派遣するよう求めた。(姫野直行)



重症化した新型コロナ患者を運ぶ大阪瑞明館病院の看護師
ら(大阪市此花区 同院提供)

重症病床の逼迫を受け、大阪府は、中等症患者を受け入れている規模の大きい24病院に対し、患者が重症化しても2人程度までは治療を続けることを要請している。

「要請があつてもなくとも、診かるをえないで同じこと」。要請を受けた大阪市の病院の担当者は言っている。この病院では20床を軽症・中等症向けに運用しているが、重症化した患者の転院を断られるケースが出ている。

新型コロナウイルスの感染が急拡大する大阪府で、重症病床の使用率が実質的に100%を超えており、重症患者の転院先が見つからず、軽症・中等症病床で治療している現場からは、医療崩壊への懸念の声が上がる。看護師が足りず、病床すぐには増やせない表情もある。

「重症者転院できないと、命救えず」

▼一面参照

大阪瑞明館病院(大阪市此花区)では、9日に重症化した患者一人の転院先が13日まで見つからなかつた。

重症患者は看護師の手がかかるため、中等症の新規の患者の受け入れを停止せざるを得なくなつたという。

運営する社会福祉法人の担当者は「重症者が転院できなければ、救えるはずの命が救えられないかもしない」と語る。

患者をどられて中等症の患者も診られなくなり、医療

が崩壊する」と語る。

(堀内健史)

ECCMO net 提供

人手不足 使えぬ病床

患者の入れる重症病床が足りない背景には、看護師の大半不足もある。せつかく重症病床を設置しても、運用できていない。想定を超える感染拡大に備えて昨年12月に稼働した「大阪市住吉区」すら、機能を發揮し切れていないのが事情だ。

重症センターは、大阪急 敷地内に人工呼吸器を配備し た30の重症病床がある。しかし、今月14日時点では患者が入院できるのは16床。30 床の稼働には看護師120人が必要だが、同日時点では72人しかいないためだ。「ベッドなどのハードはあるが、ソフトがない」と府の担当者は話す。

同センターでは、当初から看護師不足が大きな課題になってきた。府は当初、第1期で30床、第2期で30床と計60床を整備する方針だったが、看護師不足などが必要だが、同日時点での2期の30床は設備のめどが今もない。全国知事会や府内の医療機関などから看

護師を派遣してもらつてしまつたが、3月に感染者が減少したことなどで応援の看護師は引きあげ、4月1日時点では13床まで病床を縮小。ここに、今回の急激な感染拡大が起きたといふ。

大阪府看護会(大阪市中央区)は同センターで勤務する看護師80人を急募している。人工呼吸器をつけた患者のケア経験があり、現在は離職していたり、フリーランスで働いていたりする人を探用し、センターに派遣する想定だ。

高橋弘毅会長は「重症患

コロナ患者用に使つている病床のECU(集中治療室)も埋まつていて。「ECUが埋まり、転院もできなくなれば、どうしようもない。ワクチン接種も始まり、人縁りもかなり厳しいが、できる治療をするしかない」

中等症向けの17床がある

重症患者は看護師の手がかかるため、中等症の新規の患者の受け入れを停止せざるを得なくなつたという。

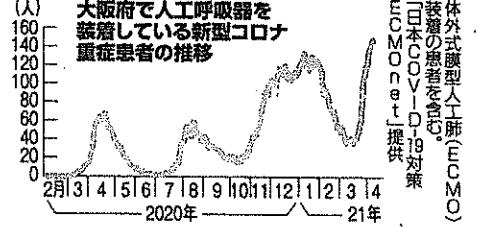
運営する社会福祉法人の担当者は「重症者が転院できなければ、救えるはずの命が救えられないかもしない」と語る。

患者をどられて中等症の患者も診られなくなり、医療

が崩壊する」と語る。

(堀内健史)

ECCMO net 提供



新型コロナウイルスの感染が急増している大阪府で、重症患者のうち人工呼吸器で治療を受けている人の数が、感染拡大の「第3波」を超えたことがわかった。

全国で独自にデータを収集している「日本COVID-19対策ECMOnet(エクモネット)」によると、体外式膜型人工肺(ECMO)装着の患者を含む、「日本COVID-19対策ECMOnet」提供

人工呼吸患者「第3波」超え

大阪で重症者が再び増加。4月10日時点で136人となり、第3波で記録した数を超えた。13日の数字では158人になっている。

データ収集を統括する京都府立医大病院の橋本悟・集中治療部長は「あまりに急激な増加で、ピークをいつ迎えるか予測がつかない」。

エクモネットは人工呼吸器やエクモを使う重症患者数について、全国の協力医療機関から報告を受けて独自にまとめている。大阪府では58病院が協力し、人工呼吸器でコロナ患者を治療する施設の大部分から報告を受けているとう。(竹野内崇宏)

「重症病床を増やせるかどうかには、人命がかかっている。経験のある看護師は、今お持ちの力をぜひ、緊急事態に使って欲しい」と訴える。(長嶋由希子)

部活動休止「指針を」

府要請に関係者困惑

新型コロナウイルスの感染の急拡大を受け、大阪府は府内の学校に「部活動の原則休止」を求めた。公式戦など必要な場合は時間を短縮して活動できるとしたが、さらなる感染防止策を学校やスポーツ関係者はどう受け止めているのか。

▼1面参照

府東部の府立高校長は「医療態勢が逼迫する中で、部活の休止はやむを得ない」と話す。例外措置について、「大会を中心の支えとしてきた生徒にとってはありがたいが、例えば試合の何週間前から練習して良いのか、具体的な指針がない」と話す。一方で、部活動の原則休止はやむを得ない」と懸念する。

別のある府立高校の野球部監督は「感染対策は最大

- 不要不急の外出や移動の自粛徹底
- テレワークの徹底
- 部活動の原則休止
- 大学での授業は原則オンラインに
- 大阪市内の繁華街で夜の外出自粛を呼びかけ

眼やっているが、命は何ものにも代えられないの従うしかない」と話す。一方で、繁華街に大勢の若者がいる映像を報道で見ると、「やるせない気持ちになら」という。「30代以下ぐら

いをひとくくりに『若者』

というのだろうが、大会に

向けて真面目に取り組んで

いる10代の部活動には

しわ寄せがきている」

大阪では高校野球の春季近畿地区大会の府予選が10日開幕したばかり。府高

校野球連盟の伊原登事務理事によると、今週末の試合は予定通りの方針で、4回戦までは無観客だが、5回戦以降は有料で観客を入れる予定だ。昨春はコロナ禍

兵庫県の井戸敏三知事は14日、新型コロナウイルスの感染対策として呼びかけた「うちわ会食」をめぐり、予定していたうちわ32万本の飲食店への配布を見合わせると明らかにした。神戸市が「うちわを使っての食事が安全だと誤解されない」などとして、配布中止を申し入れていた。

井戸知事は14日、報道陣の取材に「お店に配るのは、どんな使われ方をするのかわからず、行き過ぎだった。配ると（うちわの）使い回しもあるという意見はごもっともで、中止させていただく」と述べ、方針を

「会食用」うちわ配布中止

撤回した。

井戸知事は9日の会見で、会食中に口元を覆つて飛沫感染を防いでほしいとして、「うちわ会食」を県民に呼びかけた。これを受けて県は、「まん延防止等重点措置」の対象となつまん延防止等重点措置の対象となつた神戸、尼崎、西宮、芦屋の4市の飲食店1万6千店に、15日から約20本ずつ配る予定をしていた。

一方、神戸市の花田裕之健康局長は14日、うちわ会食の効果について抜ける「うちわに飛沫が付着し、きちんと管理しないうちわ 자체が危険」などと述べた。(武田達、鈴木春香)

門部委員長は「府の要請が出ても公式戦はできるだろうと考えているので、日程は変更しない」と話す。

現状では感染予防のため、会場での選手の待機時間を見直して密集を防ぐなどの対策をしている。古城

氏は「生徒たちが頑張った結果を出す場はなくしたくない」と言う。

サッカーの全国高校総体予選を兼ねた大阪春季大会も男子が18日、女子は5月2日にそれぞれ開幕を控える。大阪高体連サッカー専門部によると、「まん延防止等重点措置」を受けて、選手、スタッフらの人数も制限した。古井成知専門部委員長は「大会に備えてずっと練習してきた子どもたちのために、最大限の安全対策をし、できるなら試合の場を提供してあげたい」と話す。

14日午後9時現在。入院・療養中と退院者合計は14日前0時現在。網掛けは「まん延防止等重点措置」が出ている地域。カッコ内は前日最終集計との比較。総数には厚労省の発表も含み、一部重複の可能性がある。再陽性は延べ人数で計上

■新型コロナウイルス感染者		国内での確認 51万7179人(+4309) 死者9511人(+33)	
感染者	死者	感染者	死者
21975(+77)	785	63240(+1130)	1234
1215(+19)	20	23803(+507)	617
765(+2)	31	4651(+94)	58
7366(+96)	44	1634(+44)	19
344(+3)	9	317(+6)	2
1258(+16)	22	294(+1)	2
2860(+27)	118	3023(+32)	35
7211(+51)	129	5330(+28)	107
4985(+31)	70	1473(+5)	43
5365(+56)	101	761(+25)	24
34744(+145)	721	1012(+11)	19
31039(+97)	596	1776(+30)	25
127385(+591)	1819	947(+1)	19
49961(+205)	800	19748(+156)	341
1807(+37)	18	1297(+9)	13
1066(+11)	29	1683(+9)	39
2094(+21)	66	3561(+10)	74
675(+10)	28	1358(+5)	22
1051(+14)	19	2030(+9)	22
3313(+62)	47	1930(+4)	28
5091(+27)	129	11010(+137)	130
6042(+42)	121	606	121
29349(+216)	606		
3063(+29)	74		
3062(+36)	59		
10514(+125)	176		
コスタ・アトランチカ(長崎)		149人	
空港検疫など 2537人(+10)		3	
チャーター機		15人	
入院・療養中 3万1073人(+1035)		ダイヤモンド・	
うち重症 608人(+12)		プリンセス(横浜)	
退院者合計 47万1666人(+2237)		723人	死者13人
総数 51万7898人(+4309)		死者 9524人(+33)	

14日午後9時現在。入院・療養中と退院者合計は14日前0時現在。網掛けは「まん延防止等重点措置」が出ている地域。カッコ内は前日最終集計との比較。総数には厚労省の発表も含み、一部重複の可能性がある。再陽性は延べ人数で計上